

栃木県誕生二五〇年記念 下野新聞創刊二四五周年記念

文晁

—このふたり、
ただものにあらず

北斎

と



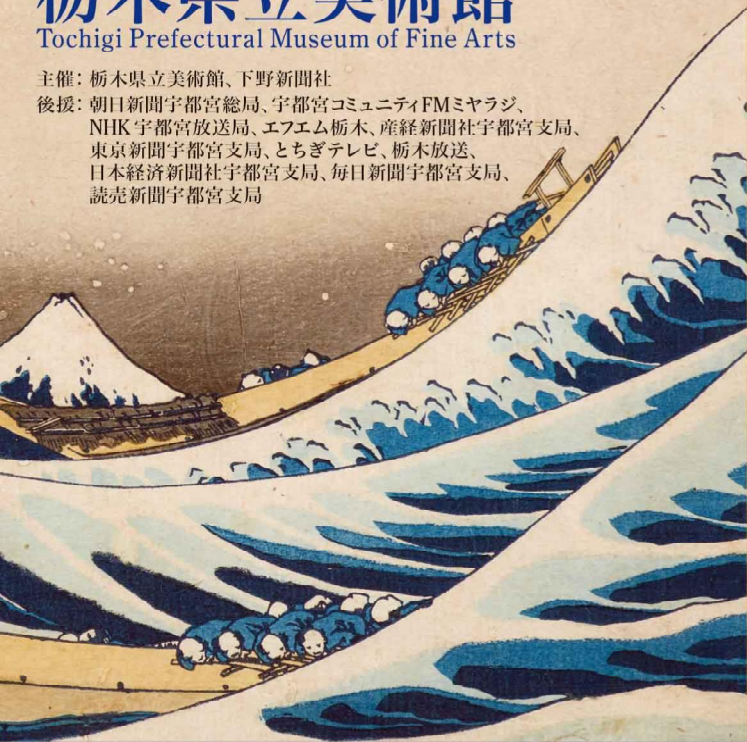
葛飾北斎《富嶽三十六景 神奈川沖浪裏》(部分)
1830-32(天保元-3)年頃 大田区立龍子記念館蔵

2023年
10月21日[土] *11月20日[月]に
展示替えを実施します。
~12月24日[日]

開館時間: 9時30分~17時(入館は16時30分まで) 休館日: 月曜日
観覧料: 一般1,000(900)円、大高生600(500)円、中・小学生以下無料
*()内は20名以上の団体料金 *無料日: 11月3日(金・文化の日)

栃木県立美術館
Tochigi Prefectural Museum of Fine Arts

主催: 栃木県立美術館、下野新聞社
後援: 朝日新聞宇都宮総局、宇都宮コミュニティFMミヤラジ、
NHK宇都宮放送局、エフエム栃木、産経新聞社宇都宮支局、
東京新聞宇都宮支局、とちぎテレビ、栃木放送、
日本経済新聞社宇都宮支局、毎日新聞宇都宮支局、
読売新聞宇都宮支局



谷文晁《金碧山水図》(部分)、1806(文化3)年



谷文晁《溪山無尽図巻》(部分) 1786(天明6)年 秋田市立千秋美術館



谷文晁《青緑赤壁山水図》



谷文晁《仏涅槃図》1802(享和2)年 大統寺(福島県白河市)

文晁と北斎

—このふたり、ただものにあらず—



伝 谷文晁《真景画帖(御巡見時縮写)》1793(寛政5)年

江戸時代中期から後期(18世紀末から19世紀前半)にかけて、谷文晁(1763-1840)と葛飾北斎(1760-1849)の人気ぶりは凄まじいものがありました。文晁と北斎はまさに江戸絵画界の二大ブランドといっても過言ではないスーパースターといえるでしょう。そして、この二人はほとんど同じ時代を生き、制作と研究に力を注いで、3歳ほど年長の北斎は数え90歳、文晁は78歳まで活躍して人生を終えました。

さて、この二人については、飯島虚心『葛飾北斎伝』(1893年刊)に面白いエピソードが残っています。11代將軍家斉が北斎の評判を耳にし、浅草の伝法院に北斎を呼びます。北斎はそこで席面の披露を求められますが、その場に呼ばれたもう一人の画家が谷文晁でした。先ずは文晁が見事な席面を描いた後、北斎は長い紙を広げ、太い筆で藍色の帯を一刷きします。そして、その上に朱色の絵具を足裏に付けた鶏を放ち、その朱の足跡を「龍田川の紅葉でございます」と將軍に申上げたというのです。真偽のほどはわかりませんが、ここには正統派の大御所文晁と庶民派の奇才北斎のコントラストが反映されています。

本展では、その二人の作品を展観することで、江戸時代中・後期の絵画受容のあり方を想像してみたいと考えています。文晁による初公開の《東海道・中山道・木曾街道真景図巻》など約40点と、同じく初公開を含む北斎の肉筆画など約40点、さらには世界的に有名な「神奈川沖浪裏」、赤富士としても名高い「凱風快晴」など《富嶽三十六景図》全46図を展示紹介(半期ずつ)することにより、江戸絵画の二大ブランドとなった二人の作品の受容の様相を概観します。

[関連イベント]

- ①「放談—文晁と北斎、ただものではないふたり」
講師:板倉聖哲氏(東京大学東洋文化研究所教授)
樋口一貴氏(十文字学園女子大学教授)
橋本慎司(当館副館長兼芸芸課長)
日時:10月21日(土) 午後3時~(90分程度)
会場:当館集会室(当日の企画展観覧券が必要)
*定員80名 事前申込み不要、先着順

- ②担当芸員によるギャラリートーク
*事前申込み不要
日時:10月21日(土)、11月18日(土)、12月16日(土)
*各回とも午後1時30分~(1時間程度)
会場:企画展示室(当日の企画展観覧券が必要)

[同時開催]

コレクション展Ⅲ 木版画の表現
10月21日(土)~12月24日(日)

[宇都宮美術館のご案内]
ヨシタケシンスケ展かもしれない
10月15日(日)~12月24日(日)
問合せ先:028-643-0100



葛飾北斎《潮干狩図》



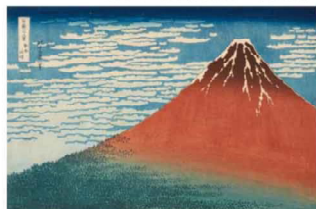
葛飾北斎《珊瑚引き図》1839(天保10)年



葛飾北斎《立美人図》
1810~19(文化7~文政2)年頃



葛飾北斎《首生の図》1842(天保13)年
摘水軒記念文化振興財団



葛飾北斎《富嶽三十六景》のうち
「凱風快晴」1830~32(天保元~3)年頃
大田区立龍子記念館



葛飾北斎《合鏡美人図》
1810~19(文化7~文政2)年頃



[交通案内]

- 電車・バス
 - ・JR東京駅から東北新幹線にて約50分
 - ・JR宇都宮駅(西口6番・7番バス乗場)、東武宇都宮駅から「関東バス作新学院・駒生行き」にて「桜通十文字」バス停下車 徒歩5分
- 自家用車
 - ・東北自動車道鹿沼ICより約10km、約20分
 - ・北関東自動車道壬生ICより約13km、約25分

栃木県立美術館
Tochigi Prefectural Museum of Fine Arts

〒320-0043 宇都宮市桜4-2-7
Tel.028-621-3566
http://www.art.pref.tochigi.lg.jp/

